札幌西・手稲健康友の会ニュース　ていねやま

発行所　：　札幌西・手稲健康友の会
札幌市西区西町北19丁目勤医協西区病院内
直通６６６－２８７７（ＦＡＸ兼用）
発行責任者　坂野　悠紀子
友の会員数 12,300人（6月現在）

西区病院　ひだまりクリニック　新型コロナウイルス感染対策

西区病院　感染対策委員会事務局長
検査科技師長　宮島　英里子

北海道の「緊急事態宣言」が解除され、少しずつ活動の自粛が緩和されていますが、まだまだ気を緩める事ができない状況が続いています。

西区病院、ひだまりクリニックでは、患者さんやご家族をはじめ、病院に関わる全ての人達をこの感染から守るために「予防標準策」を基本に感染経路に応じた予防策を実施しています。

新型コロナウィルスの感染経路は主に飛沫感染と接触感染と考えられています。

新型コロナウィルスを心配して、受診を控えている方もいらっしゃると思いますので、その一部をご紹介させていただきます。

接触・飛沫感染予防対策
うつさない、うつらない

○窓口にビニールシートやアクリル板を設置しています。

○待合室は換気を十分に行い「密」になるのを防ぐため椅子の数を調整しています。

○受付で体温測定を行い、発熱、咳、痰などの呼吸器症状や倦怠感がある方の待合室は区分しています。

○患者さんに対応する職員はマスクや、目の防護のためアイシールドやフエースシールドを着用しています。

○西区病院には感染してしまうと、重症化するリスクの高い患者さんが多く入院しています。ウイルスを外から院内に持ち込まない対策として、面会制限を実施しています。

このことで入院患者さんやご家族には大変ご不便をおかけしていますが、ご了承願います。

新型コロナウィルスはまだまだ終息の兆しが見えませんが、皆さまに少しでも安心して受診していただけるよう、私たちはこれからもしっかりと感染対策に取り組んでいきます。

シリーズ身近な健康
歯科訪問診療　その２

勤医協にしく歯科　歯科衛生士　堀口　純江

治療を　あきらめないで

にしく歯科に外来で通院していた患者様が高齢や病気のため、通院が出来なくなり「定期的なチェックにも通えない」と諦めてしまう方も多いのではないでしょうか。訪問歯科診療では在宅で定期的なお口のクリーニングや歯科治療をする事ができます。今まで自分でしっかり歯を磨く事ができていた方も、残念ですが様々な理由で歯を磨く力が衰えてしまう方もいらっしゃいます。そのような時はぜひご相談ください。

訪問で歯科ケアを

歯科衛生士による訪問は月４回まで可能です。定期的な口腔ケアを行うと、肺炎の予防や最近ではインフルエンザの予防にもなると言われています。口腔ケアだけでなく、お口の力や飲み込む力が衰えないようにお口の体操なども行っています。

こんなことも

私が担当していた患者様が歩行困難になり、自宅へ週１回訪問する事になりました。訪問時にお口の中をみると朝飲んだはずのお薬錠剤が飲み込めずに残ったままでした。ご家族も気づいておらず、すぐケアマネジャーさんと訪問の看護師さんへ連絡しました。他にも訪問看護やヘルパーさんの訪問が無い日に歯科が訪問する事により毎日誰かしら訪問するシステムを作った事例もあります。私たち歯科衛生士は、今後もお口の中だけでなく、様々な職種と連携・協力し生活支援をしていきたいと考えております。

勤医協への寄付金のお願い

西区病院事務長　島垣　雄一

友の会会員の皆様には、日頃より西区病院・ひだまりクリニックの運営へのご協力、また、新型コロナウィルス感染症の拡大については、ご心配の声や励ましの言葉も頂き、誠にありがとうございます。３月中旬から始めた新型コロナウィルス感染防止対策の強化が長期化しており、面会の制限や来院時の検温等でご不便をおかけしております。

北海道勤医協は公益社団法人として経済的な理由で受診が困難な方への無料・低額診療や、差額ベット代を頂かない取り組みを行っています。コロナ禍で生業や生活が成り立たなくなった方への支援がさらに必要になってくることが予想されます。また病院・クリニックでの感染対策にこれまで以上の費用がかかって参ります。この場で改めて北海道勤医協の寄付金のお願いをさせて頂きます。私たちは無差別平等の医療と介護の実現のため、皆さまからのご支援を頂きながら日々奮闘しております。皆様からのご支援、ご協力をお願いいたします。

ひだまりクリニック　新医師紹介

山崎（ヤマザキ）　香子（コウコ）　先生

5月に着任いたしました。
旭川医科大学卒業後、循環器を専門として診療してきました。

ここ数年は、高齢者医療にも携わるようになり全人的医療の大切さも実感しています。

西区病院では主にひだまりクリニックの外来を担当いたします。分かりやすい説明を心がけています。新型コロナウィルスのため、日常生活や病院への受診・診療にも支障が出ていますが、少しでもはやく患者さんが安心して医療を受けられる時が来るよう願っています。

特定健診を再開しました

健診を控えていた方はお受けください

【健歩会】

あいの里のロイズローズガーデンに
バラを見に行きます。
あいの里教育大駅から歩きます。

とき：7月１０日（金）
集合：ＪＲ学園都市線　あいの里教育大駅
　　　１０時３０分集合
札幌駅９時５４分発⇒桑園駅９時５７分⇒
あいの里教育大駅１０時２１分着
　　※昼食持参、小雨決行

【パークゴルフ】

とき：7月２８日（火）
場所：五天山公園
集合：現地集合　9時３０分、
　　10時プレー開始　　※小雨決行
参加費：プレー代230円　運営費100円
申込先：友の会　締め切り：7月17日（金）
世話人：澁谷徳男、大山萬馬、佐々木成之

五天山行きバス時刻

JR琴似駅	地下鉄琴似駅	地下鉄発寒南駅
8:25	9:06	8:54

【のんびり歩こう会】

当面休みます

新型コロナウイルスの状況により中止することがありますので、事前に友の会に問い合わせください。
熱中症対策とマスク着用お願いします。

新型コロナウィルスに立ち向かう介護事業

勤医協福祉会
西手稲ブロック　齋藤　誠

新型コロナウィルスの影響で、皆さんの生活も大きく変わり日々、テレビ・新聞などマスコミ情報を注視していると思います。介護事業は大丈夫？など、ご心配をかけていると思いますので少し紹介します。

大きく分けて介護の事業は事業所で生活されて、または事業所に来ていただいてサービスを提供するか、こちらからご自宅に伺ってサービスを提供するかの二通りが有ります。前者の特徴的な事業は手稲センターにあるたんねの里や結です。このような場合は、ウィルスを外から持ち込まないために、どのようなことが必要かが重要で外部との接触を遮断する取り組みを行っています。ご家族との面会や外出の制限、出入り業者関係の皆さん等の玄関先での検温、手指洗浄の徹底等です。また、住宅の食事も職員が部屋まで届ける「部屋食」にして三密を避ける工夫を行っています。三食の支援体制も時差出勤などで対応しています。

訪問系もサービス（訪問看護・介護）居住支援は、日々の利用者さんの情報を収集することが重要です。訪問に行く前に検温の確認、症状の有無、家族間や知人友人の動向など、分かる範囲でお聞きします。そんな中で「発熱して受診した」「同居家族が海外から帰ってきた」「家族の職場で陽性反応がでた」「複数ヶ所通っている内の一つのデイサービスの利用者から陽性反応が出た」などの情報があれば、訪問に行くかどうかの判断や行く場合の手作り防護具の準備など大変です。利用者さんの中には高熱とだるさなどから、新型コロナウィルスのPCR検査を受けた人もいましたが、陽性反応が出た方はいませんでした。

経営的には、他人との関わり、三密を避け感染しないことを目的にサービス控えが発生し、特にデイサービスに対する影響は大きくなっています。西センターのデイサービスは１ヵ月六〇万円程度の収益減（一日平均２・５人減）となりました。一方で全国的にデイサービスが事業縮小、閉鎖する中で手稲センターの二つのデイサービスは、そこからの紹介もあり利用者を確保しています。

新型コロナウィルスの影響で、これからの生活様式は一変しました。今後も続く朝夕の検温（職員も利用者さんも）、食事などを除くマスクの着用、外出後の手洗い、うがい、日々の健康観察は蔓延を防ぐ「新しい生活様式」になります。高齢というだけでリスクが高くなります。その実情を介護事業所の困難さと併せて行政に訴えたことは大きな反響を呼んでいます。

新型コロナウィルスの影響をこれ以上広げないように友の会のみなさんと共に取り組んでいきたいと考えています

シリーズ　**このひと**

日本に来て２６年

新発寒班　राजेश बाबु श्रेष्ठ　**（シュレスタ・ラジェス・バブ）さん**

桑園駅から徒歩５分のインド・ネパール料理店　Sagaramatah Chula

「youは何しに日本へ」というテレビ番組で日本に来ている外国の人を紹介していますが、友の会にも外国から来た人がいます。新発寒班のシュレスタさんです。シュレスタさんはネパールの人です。日本に来て26年になります。きっかけは国際結婚です。奥さんがネパール観光に何度か出かけた際にカトマンズで知り合い６年越しの遠距離恋愛で結ばれました。

来日は１９９４年でシュレスタさん35歳の時で、一時奥さんの実家の東川町で暮らし、その後札幌に移住しました。当時は日本語がわからず働く所が無く大変だったそうです。ただ「頑張ります」の一言で働く所を探していたと当時を振り返ります。西区のアスファルト工場に勤めそこの社長さんが良い人で色々面倒をみてくれ日本のお父さんですと、当時を振り返ります。２０００年に盲腸炎で西区病院に入院したのが友の会との出会いで、少しでも友の会のお手伝いをと、宅配活動に参加してくれています。

現在、桑園の札幌競馬場の近くで本場インド・ネパール料理店「サガラマタ・チュラ」を開いています。店を開いて11年になり３年間は赤字だったそうです。シュレスタさんの明るく物怖じしない性格と何事にも前向きな行動力で日本の生活に溶け込みすっかり日本人です。

友の会　電話・ＦＡＸ
６６６−２８７７

切った布を集めています

タオル・薄手のバスタオル・シーツ・Ｔシャツなど木綿の洗濯済みのおよそ１５ｃｍ四方に切った布を集めています。
（コロナの感染の影響でボランティアさんの布切作業を中止しています）

布は患者さんや施設利用者さんの排泄介助の清拭用布として利用しています。

介護電話相談

第一金曜日　午前9：00〜12：30
電話　６６９−３７３７
ケアプランセンターすずらん
※ひだまりクリニックの介護相談センターは新型コロナウイルス感染防止のため中止中です。

円山公園のおしどり　（撮影　小野壽春さん）